

# 令和6年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立東小学校

## ●全国学力学習状況調査（小学校第6学年）

|    | 課題が見られた問題の概要                                         | 正答率  | 調査結果を踏まえた成果                                                                                                                    | 調査結果を踏まえた課題                                                                                                                   |
|----|------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語 | 学年別配当漢字表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。                   | 41.9 | 「話すこと・聞くこと」に関する項目が、都平均よりも2.7～8.6pt高い。「書くこと」に関する項目が、都平均よりも3.1～4.4pt高い。集めた情報を整理分析し、目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように表現を工夫することが定着しているものと分析した。 | 「漢字」「読むこと」に関する項目が、都平均よりも3.5～15.6pt低い。人物像や物語の全体を正しく具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに課題が残る。後半になるにつれて、無解答率が上がっている。最後まで集中して問題を解くことに課題がある。 |
|    | 文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかを見る。                   | 60.8 |                                                                                                                                |                                                                                                                               |
|    | 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。                   | 67.6 |                                                                                                                                |                                                                                                                               |
|    | 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかを見る。      | 55.4 |                                                                                                                                |                                                                                                                               |
| 算数 | 折れ線グラフから、必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかを見る。 | 44.6 | 「数と計算」は、都平均よりも2.7～4.7pt高い。昨年度の調査でも都平均より高く、「数と計算」に関しては、本校児童は安定してできるようになっているものと分析した。選択式のものは、正答率が高い。                              | 限られた領域に課題があるわけではなく、記述式の正答率が都平均よりも3.4～13.6pt低い。また、思考力・判断力・表現力が3.4pt低く、既習事項を応用し、自分の言葉で表現することに課題が残る。                             |
|    | 計算の性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかを見る。    | 56.8 |                                                                                                                                |                                                                                                                               |
|    | 早さの意味について理解しているかどうかを見る。                              | 56.8 |                                                                                                                                |                                                                                                                               |
|    | 表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかを見る。         | 41.9 |                                                                                                                                |                                                                                                                               |